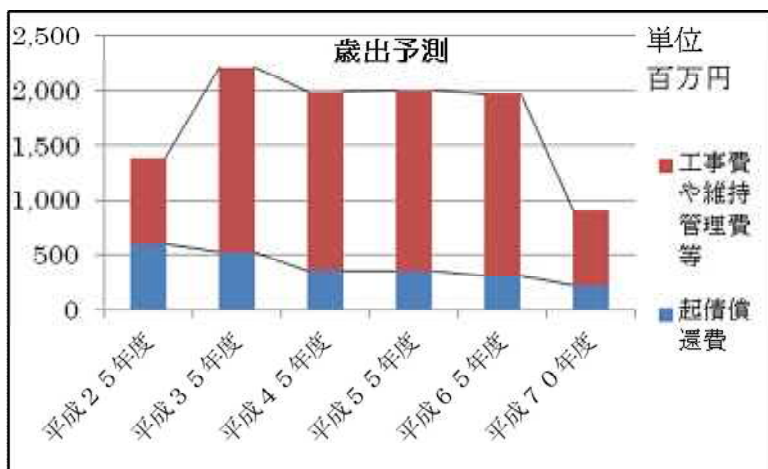


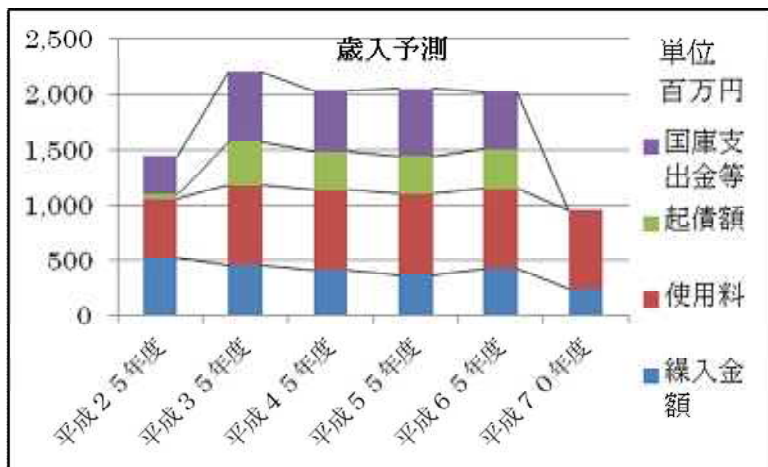
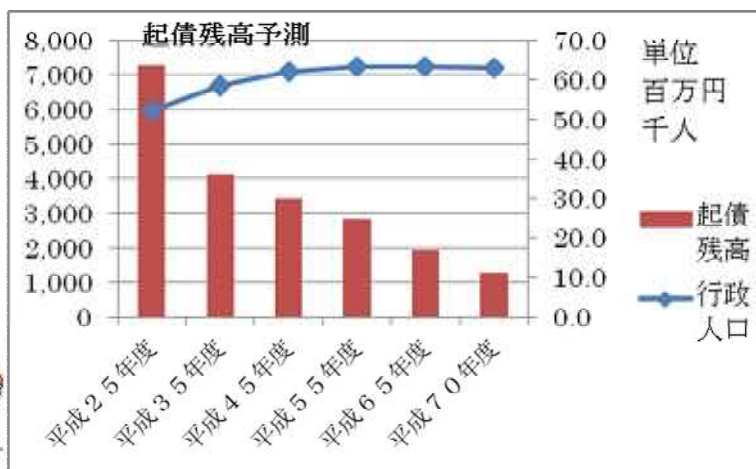
# 長久手市下水道事業将来予測

下水道事業の将来について、今後の工事や維持管理費用を想定し平成70年度までの予測を行いました。

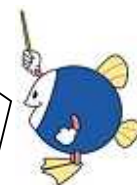


現在5億円を超え歳出の半数を占める起債償還費は、段々と減り2億円程度となります。

また、起債残高も現在70億円を超えますが、今後10年で返済が特に進み、平成70年度には10億円程度となります。



市民の皆様から頂戴している使用料や、一般会計繰入金金が歳入の半数を占めるのは今後も変わりません。大規模な工事等があると、それだけでは賅えませんので、国等からの補助金を充てたり、起債を行います。



平成25年度現在、南部浄化センター建設も終わり稼働が開始しましたが、今後も大がかりな機械設備入替や増設等が必要となってきます。また修繕等の維持管理費も増加が予想されます。

歳入に関しては、今後人口減少も予測され使用料も減ることが予測されますが、市民の皆様から頂いている使用料は重要な収入源であり今後も同水準を維持していく必要があります。

今後も厳しい財政状況が続きますが、歳出を出来るだけ抑え、下水道財政の健全化を図っていきますので、ご理解と、ご協力をお願いいたします。

本予測はあくまでも平成25年度現在における予測であり、今後の社会情勢等により変更する可能性があります。

